

ネットワーク大賞受賞後、喜びを語る金丸さん(中央) =25日、東京都庭園美術館新館大ホール



徳之島暮らし、高い評価

金丸さん 新著がネット大賞

スローフードも紹介

【東京支社】ライターや編集者らの勉強会として1993年に発足したライターズ・ネットワークの2005第10回大賞授賞式(同実行委員会主催)が25日、東京都庭園美術館新館ホールであった。東京から徳之島に家族で移り住み、島の生活や食文化などをエッセーとしてまとめた食環境ジャーナリストの金丸弘美さん(53)の新著「ゆらしい島のスローライフ」(学習研究社刊)が大賞を受賞した。

この日行われたシンポジウムや大賞授賞式には

全国から大勢のライターや編集者らが参加した。

金丸さんは佐賀県唐津市出身。妻の両親が徳之島出身だったことから〇一年、家族で東京から同地に移住。「ゆらしい島のスローライフ」は島での暮らしや人との出会い、食生活を「牛一頭まるごと牛鍋祝宴」「海と風、青空とハリセンボン」など二十五のタイトルでエッセーとしてまとめた。ゆらしいは「ゆっくり」の意味。

また、スローフード研究家らしくエッセーの合間に「アオサ炒(いた)め」「ニガウリの梅干和(あ)え」といった島料理のレシピも紹介。そのほか、唐仁原教久さんのイラストや阿部雄介さんの写真なども添えられている。

大賞授賞の理由について事務局側は「ブックワークこそネットワーク」を行動原理とした多

様な活動とその成果の積み重ねのうえに氏が確立した『食』の領域とその社会的評価、また、その著作活動の頂点を本著がなしている」と説明。

金丸さんは「この本を書けたのも徳之島の皆さんと妻のおかげ。自分にとって生活と行動が出そろった内容。イラスト、写真、デザインも豪華ですてきな本ができたと思う。身内同士の賞だけにうれしい」と喜びを語った。また、「徳之島は素晴らしい自然環境が残されている。それらをきちんと維持するためにお金をかけることこそ、観光資源を守ることに必要な」と述べた。